

令和8年3月24日
環境生活部

環境生活部における令和8年度 of 取組

1 岩手県クマ出没情報共有アプリ「Bears (ベアーズ)」のリリースについて

岩手県内のクマの出没に関する情報を投稿・共有できるアプリ「Bears (ベアーズ)」を近日中にリリースします。本アプリは、LINEの岩手県公式アカウントを友達追加することで、どなたでも御利用いただけます。

「Bears (ベアーズ)」の概要

- ① 県公式LINEからアプリを起動し、クマの目撃情報の投稿や県全域のクマの出没情報の地図上での閲覧ができる。
 - ② 初期設定の際に、選択したエリア内で投稿があった場合にプッシュ通知を受信することができる。
- ※ プッシュ通知の受信希望エリアを複数の市町村単位で設定でき、さらに細分化した5km四方（メッシュ）単位でも選択可能。



左記QRから、**岩手県公式LINE**を友だち登録

目撃情報の投稿
県公式LINEを開く
⇒「防災・震災復興」メニュー
⇒ Bears (ベアーズ) を選択



プッシュ通知・閲覧



操作イメージ①：投稿

1

岩手県公式
LINEを開く



2

「防災・震災復興」
メニューからBears
(ベアーズ)ボタンを選択



3

「クマを見た!」
ボタンを押し
必要情報を入力



4

地図上にピンを
打つ



5

投稿完了



投稿されたエリアを
受信設定しているユーザーへ
通知



操作イメージ②：閲覧

1

岩手県公式
LINEを開く



2

「防災・震災復興」メ
ニューからBears(ベ
アーズ)ボタンを選択



3

「クマはどこ？」
ボタンを押す



4

地図上のピン/
一覧で出没状況
を確認



操作イメージ③：受信設定

1

岩手県公式
LINEを開く



「防災・震災復興」
メニューからBears
(ベアーズ)ボタンを選択



2

「受信設定」
ボタンを押す



3

市町村単位(複数)や
エリア単位で
受信設定が可能



4

設定したエリアで
出没があった場合
通知が届く



5



2 野生動物に係る専門職員・野生動物管理専門員の採用について

ツキノワグマ等の野生動物の適正管理のため、専門職員1名を4月から採用予定であるとともに、野生動物管理専門員（ガバメントハンター）5名は3月から採用しましたので、報告します。

採用者の概要等

区分	採用人数	年代	主な取組	任用時期
専門職員 (野生動物管理)	1人	20代	<ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマの被害防除の調査・研究、効率的な捕獲手法調査 野生動物管理専門員と連携した県内狩猟者への捕獲技術向上に係る研修、県民向けの出前講座、市町村への助言 等 	4月から
野生動物管理専門員	5人	30代から60代	<ul style="list-style-type: none"> AIカメラなどを活用した箱わなによる指定管理捕獲の実施 市町村からの要請に基づく、専門職員と連携した緊急銃猟などにおける支援の実施 等 	3月から

※ 専門職員及び野生動物管理専門員の全員が第一種銃猟免許及びわな猟免許を所持

⇒ 専門職員と野生動物管理専門員が連携しながら、ツキノワグマ等の野生動物の適正管理を実施



野生動物管理専門員 発足式

農林水産部における令和8年度の取組

- 国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、捕獲や恒久電気柵の設置など食害等防止対策、里山周辺での除間伐など地域全体で取り組む被害防止活動を支援（総額474百万円）
 - ・ 生息状況調査に基づく捕獲対策などのクマ特別対策を支援（12百万円）
- 新**・ 本県が開発した恒久電気柵と、鉄鋼スラグ舗装を組み合わせた省力的な管理技術の開発・実証を実施（2百万円）



鉄鋼スラグ敷設中



敷設後

- 「いわての森林づくり県民税」を活用し、クマ等の野生動物の人の生活圏への出没抑制のための環境整備を支援
 - ・ 地域住民や団体等が主体的に取り組む里山林などの森林整備活動等とともに、市町村が行う緩衝帯の整備を支援（16百万円）
- 新**・ 他部局と連携し、移動経路となり得る河川内や、出没が見込まれる県有施設周辺等の樹木・藪の刈払い等を支援（39百万円）

県土整備部における取組状況①

○ これまでの取組

- 河道掘削及び支障木伐採など治水安全度の向上を図る取組を実施。クマの出没抑制にも寄与。

【河道掘削（支障木伐採）の実施状況】

令和8年2月末時点

区分	実施状況
令和7年度	・実施河川数 52河川、59箇所。 ・このうち54箇所が完了、5箇所で作業中。
令和8年度	・実施予定河川数 50河川、61箇所。

- ツキノワグマ被害防止対策事業（環境生活部・R7.12月臨時会）により、県管理河川内の立木伐採に順次着手。

【立木伐採の実施状況】

令和8年2月末時点

区分	実施状況
令和7年度～8年度	・実施予定区域 6市町、実施予定河川数 8河川、11箇所。 ・6市町から要望を聞き取り、伐採箇所を調整済み。 ・実施予定箇所11箇所のうち2箇所が完了、1箇所で作業中。残る8箇所についても、順次、着手予定。

○ 令和8年度以降の新たな取組

- 「いわての森林づくり県民税」を活用し、クマ等の野生動物の人の生活圏への出没抑制のため、移動経路となり得る河川等の樹木の伐採や藪の刈払い等の環境整備を実施。

（河川海岸等維持修繕事業）

県土整備部における取組状況②

【河道掘削（支障木伐採）の状況（河川海岸等維持修繕費）】



【立木伐採の状況（ツキノワグマ被害防止対策事業費）】



教育委員会における取組状況

○ これまでの取組

- ・ 児童生徒の被害報告 【なし】
- ・ クマ出没等による学校休業措置報告 【R7：6件】
- ・ 学校に対する児童生徒への被害防止に向けた取組の周知徹底
- ・ 教職員・スクールガード等に対するクマ対策の研修会 【R7：2回、参加者170名】
- ・ 教育委員会危機管理マニュアルの改定に向けた有識者による検討 【R8年2月】
- ・ スクールガード等のクマ対策物品（クマよけスプレー、クマ鈴等）
購入費の支援【R7：8市町村】
- ・ 県立学校のクマ対策物品（クマよけスプレー、爆竹等）の配備
【R7：全県立学校】
- ・ 農地を有する県立学校における緩衝帯整備のための校地内樹木の伐採等 【R7：12校】



（研修会）クマよけスプレー噴射の様子



（緩衝帯整備）施行前



（緩衝帯整備）施行後

○ 令和8年度の取組

- ・ 学校におけるクマ出没情報の把握に向けた、市町村や警察等との連携
- ・ 教職員・スクールガード等に対するクマ対策の研修会の開催（292千円、2回）
- ・ 児童生徒が自ら危険な状況を適切に判断し、回避できる指導の徹底
- ・ クマを引き寄せないための学校における環境整備（現行予算で対応）